

フィラメント温度分布測定

● 400℃～3000℃の高温を面分布で測定

● 最速15KHzの超高速撮影機能

フィラメントの温度分布を測定する際の問題点は、温度が非常に高温（2000℃以上）である事、ガラスを透過しなければならない事が挙げられる。通常のサーモグラフィ（測定波長：7.5～13μm）では、ガラスを透過せず表面温度を測定してしまい、測定温度も2000℃までと2000℃以上の測定には不向きである。しかし、CPA-SC7100（測定波長：0.9～1.7μm）を使用する事でガラスを透過し、かつ3000℃までの測定が可能となります。

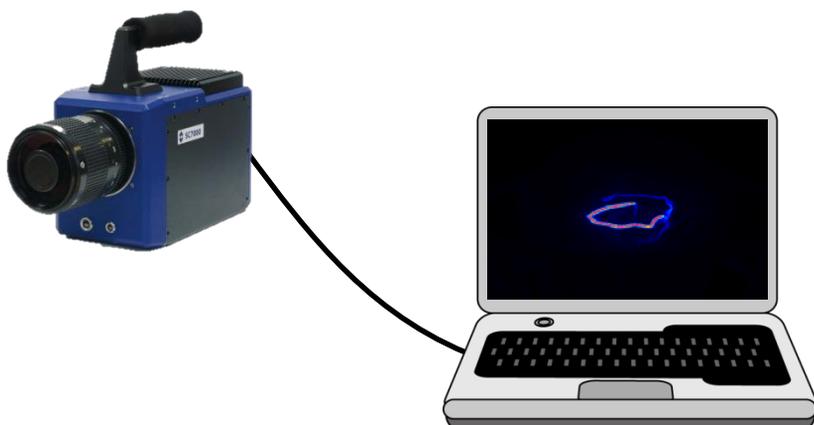
■ 導入効果

- 長波長帯のカメラでは測定ができなかった、窓越しや真空チャンバー内の温度測定が可能
- タングステンフィラメント等の高温測定が可能
- Cマウントレンズを採用しており、レンズの価格が安価である

■ 商品の特長

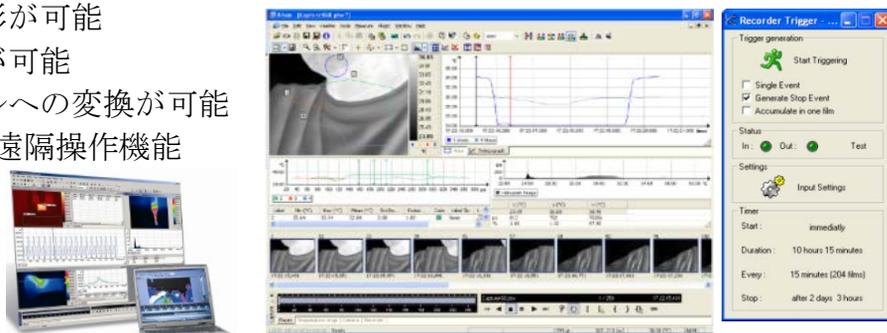
- 検出素子を電子冷却することで、高感度かつ低ノイズを実現
- Cマウントレンズに対応
- フルフレームレート340Hz、Windowing機能で最速15KHzの超高速撮影が可能
- ユーザーでの温度調整が可能

■ アプリケーション例



■ 温度計測・解析ソフトウェア ALTAIR

- 画像表示やヒストグラム、ラインプロファイル、トレンドデータをリアルタイム表示/高速撮影が可能
- トレンドデータのCSV出力が可能
- 動画ファイルのAVIファイルへの変換が可能
- 露光時間の変更などカメラ遠隔操作機能
- Windowing機能
- 各種トリガー機能



CHINO